

# Splunk 基本 1 ラボ実習

# ラボ表記規則:

[sourcetype=db\_audit] **または** [cs\_mime\_type] はソースタイプまたはフィールド名を指します。

**備考:** ラボ作業が個人のコンピュータまたはバーチャルマシンで実施された場合、ラボ環境は提供されません。 運用環境でのラボ作業は**決して実施しない**でください。

ラボマニュアルは示されるデータタイプ別にソースタイプを参照しています:

タイプ	ソースタイプ	関連のフィールド
ウェブアプリケー ション	access_combined_wcookie	action, bytes, categoryId, clientip, itemId, JSESSIONID, productId, referer, referer_domain, status, useragent, file
データベース	db_audit	Command, Duration, Type
Web サーバー	linux_secure	COMMAND, PWD, pid, process

# ラボモジュール8-基本コマンド

**備考:** Splunk におけるサーチの基本を理解したところで、もう少し難しいラボにチャレンジしてみましょう。このラボ文書には2つのセクションがあります。 最初のセクションには解答の記載がない指示が含まれます。 次のセクションには予想されるサーチ文字列 (解答) が赤で記載された指示が含まれます。

# 説明

このラボでは、フィールド、テーブル、リネーム、重複排除を含む一般的な **Splunk** コマンドをいくつか使用します。

#### 手順

**シナリオ**: マーケティングチームはマーケティングキャンペーンに関連するすべてのユーザーセッションを追跡しています。 購入アクションを含むすべてのユーザーセッションのレポートのようなもので、それにより、実行中の別のキャンペーンで評価できるようにします。

# タスク 1: リクエストされたデータをサーチします。

1. サーチビューに移動します。 (ホーム App にいる場合は、画面左側にある列からサーチ & レポートをクリックしてください。サーチビューへは、画面一番上の緑のバーにあるサーチメニューをクリックしてもアクセスすることができます。)

# splunk>

**備考:** このコースでは、常時メインインデックスを使用してサーチすることになります。 これは運用 環境で最適な実例ではありませんが、データセット制限の性質により、これらのラボに必要と なります。

2. ウェブステータスが 200 の購入アクションを含むすべてのウェブアプリケーションイベントを返すサーチを入力します。

## 結果例:

< Hide Fields	i≡ All Fields	i	Time	Event
SELECTED FIELDS  a host 1  a source 1  a sourcetype 1  INTERESTING FIELDS  a action 1  # bytes 100+ a categoryid 7  a clientip 100+ # date_hour 24 # date_mout 24 # date_mouth 2  # date_mouth 2  # date_wouth 60  a date_wo	>	5/21/18 11:57:14.000 PM	109.169.32.135 [21/May/2018:23:57:14] "POST /cart/success.do?JSESSIONID=SDISL7FF6ADFF89341&productId=FI-AG-G08 HTTP 1.1" 200 767 "http://www.buttercupgames.com/cart.do?action=purchase&" "Mozilla/5.0 (compatible; MSIE 9.0; Windows NT 6.1; WOW64; Trident/5 0; BOIE9;ENUS)" 986 host = web_application   source = access_30DAY.log   sourcetype = access_combined_wcookie	
	>	5/21/18 11:57:13.000 PM	109.169.32.135 [21/May/2018:23:57:13] "POST /success.do?action=purchase&categoryId=SHOOTER&productId=WC-SH-G04&JSESSIONID=SD1 L7FF6ADFF89341 HTTP 1.1" 200 268 "http://www.buttercupgames.com/cart.do?action=addtocart&categoryId=SHOOTER&productId=WC-SH-G04" Mozilla/5.0 (compatible; MSIE 9.0; Windows NT 6.1; WOW64; Trident/5.0; BOIE9;ENUS)" 448 host= web_application   source = access_3ODAY.log   sourcetype = access_combined_wcookle	
	>	5/21/18 11:53:43.000 PM	198.35.3.23 [21/May/2018:23:53:43] "POST /success.do?action=purchase&categoryId=ARCADE&productId=MB-AG-G07&JSESSIONID=SD8SL8 6ADFF4957 HTTP 1.1" 200 2915 "http://www.buttercupgames.com/cart.do?action=addtocart&categoryId=ARCADE&productId=MB-AG-G07" "Moz la/5.0 (compatible; MSIE 9.0; Windows NT 6.1; WOW64; Trident/5.0; BOIE9;ENUS)" 448 host= web_application   source = access_30DAY.log   sourcetype = access_combined_wcookie	
		>	5/21/18 11:51:56.000 PM	198.35.3.23 [21/May/2018:23:51:56] "POST /cart/success.do?JSESSIONID=SD8SL8FF6ADFF49578productId=DC-SG-G02 HTTP 1.1" 200 594 http://www.buttercupgames.com/cart.do?action=purchase8" "Mozilla/5.0 (compatible; MSIE 9.0; Windows NT 6.1; WOW64; Trident/5.0; EIE9;ENUS)" 448 host = web_application   source = access_30DAY.log   sourcetype = access_combined_wcookle

3. 関連のフィールドリストで file フィールドを選択します。

# 結果例:

Values	Count	%
success.do	16,139	89.991%
error.do	1,795	10.009%

- **4.** Web サーバーから返されるファイルは**2**種類あります。 その**2**つとは、error.do と success.do で す。ウェブ開発チームによると、success.do は注文処理時に、error.do は処理中の情報にエラーが ある場合に使用されます。
- 5. チームは正常処理された購入のみを検索していますので、サーチを変更してそれらのみ返すようにします。

## 結果例:

< Hide Fields	≡ All Fields	i	Time	Event
selected Fields  a host 1  a source 1  a sourcetype 1		>	5/21/18 11:57:14.000 PM	109.169.32.135 [21/May/2018:23:57:14] "POST /cart/success.do?JSESSIONID=SD15L7FF6ADFF89341&productId=FI-AG-608 HTTP 1.1" 200 3 767 "http://www.buttercupgames.com/cart.do?action=purchase&" "Mozilla/5.0 (compatible; MSIE 9.0; Windows NT 6.1; WOW64; Trident/5.0; BOIE9;ENUS)" 986  host = web_application   source = access_3ODAY.log   sourcetype = access_combined_wcookle
INTERESTING FIELDS  a action 1  bytes 100+ categoryld 7  clientip 100+ date_hour 24  date_mday 30  date_minute 60  a date_month 2		>	5/21/18 11:57:13.000 PM	109.169.32.135 [21/May/2018:23:57:13] "POST /success.do?action=purchase&categoryId=SHOOTER&productId=WC-SH-G04&JSESSIONID=SD1S L7FF6ADFF89341 HTTP 1.1" 200 268 "http://www.buttercupgames.com/cart.do?action=addtocart&categoryId=SHOOTER&productId=WC-SH-G04" " Mozilla/5.0 (compatible; MSIE 9.0; Windows NT 6.1; WOW64; Trident/5.0; BOIE9;ENUS)" 448 host= web_application   source = access_3ODAY.log   sourcetype = access_combined_wcookle
		>	5/21/18 11:53:43.000 PM	198.35.3.23 [21/May/2018:23:53:43] "POST /success.do?action=purchase&categoryId=ARCADE&productId=MB-AG-G07&JSESSIONID=SD8SL8FF 6ADFF4957 HTTP 1.1" 200 2915 "http://www.buttercupgames.com/cart.do?action=addtocart&categoryId=ARCADE&productId=MB-AG-G07" "Mozil la/5.0 (compatible; MSIE 9.0; Windows NT 6.1; WOW64; Trident/5.0; BOIE9;EMUS)" 448 host= web_application   source = access_3ODAY.log   sourcetype = access_combined_wcookle

**6.** チームに関係のないフィールドを確認します。 fields コマンドを使用し、action、JSESSIONID、 status フィールドのみを返すようにします。サーチはコマンドを使用してより速く実行されますか?

7.



結果例:

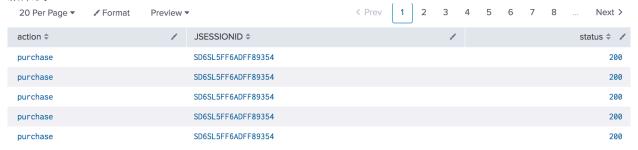
#### **INTERESTING FIELDS**

- a action 1
- a JSESSIONID 100+
- # status 1
- **7.** フィールドリストは整理されているように見えますが、こういったイベントが見えるとチームが混乱する場合があります。

# タスク 2: テーブルが読みやすいようにデータを配置します。

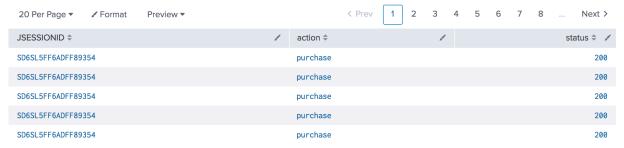
8. fields コマンドを table コマンドに置き換えて、データをテーブルとして表示します。

#### 結果例:



9. フィールドの順序を変更し、JSESSIONID が最初の列にくるようにします。

#### 結果例:



**10.** セッション ID はマーケティングデータでは「User Sessions」とよばれます。 JSESSIONID の名前を変更し、レポートとマーケティングデータを一致させます。

## 結果例:



- 11. sort コマンドを使用して UserSessions をソートします。
- **12.** UserSessions 値の中には複数回表示されるものもあります。 また、統計タブで返されるイベント数にも注意します。
- 13. sort コマンドを解除し、dedup を使用して同一のセッション値を削除します。



# 結果例:

UserSessions \$	✓ action	/	status 🗢 🥒
SD1SL7FF6ADFF89341	purchase		200
SD8SL8FF6ADFF4957	purchase		200
SD2SL10FF6ADFF4955	purchase		200

14. いくつのイベントが統計タブに記載されていますか?

備考: ベストな成果を得るため、dedup はサーチのできるだけ早い段階で行ってください。

**15.** action および status フィールドの表示はデータのサニティーチェックに適していましたが、マーケティングチームはこれらを表示させる必要はありません。 これらをテーブル表示から削除します。 *結果例*:

UserSessions <b>\$</b>	
SD1SL7FF6ADFF89341	
SD8SL8FF6ADFF4957	
SD2SL10FF6ADFF4955	
SD3SL5FF3ADFF89564	



# Splunk 基本 1 ラボ実習

# ラボ表記規則:

[sourcetype=db\_audit] **または** [cs\_mime\_type] はソースタイプまたはフィールド名を指します。

**備考:** ラボ作業が個人のコンピュータまたはバーチャルマシンで実施された場合、ラボ環境は提供されません。 運用環境でのラボ作業は**決して実施しない**でください。

ラボマニュアルは示されるデータタイプ別にソースタイプを参照しています:

タイプ	ソースタイプ	関連のフィールド
ウェブアプリケーション	access_combined_wcookie	action, bytes, categoryId, clientip, itemId, JSESSIONID, productId, referer, referer_domain, status, useragent, file
データベース	db_audit	Command, Duration, Type
Web サーバー	linux_secure	COMMAND, PWD, pid, process

# ラボモジュール8-基本コマンド(ソリューション付)

**備考:** Splunk におけるサーチの基本を理解したところで、もう少し難しいラボにチャレンジしてみましょう。このラボ文書には2つのセクションがあります。 最初のセクションには解答の記載がない指示が含まれます。 次のセクションには予想されるサーチ文字列 (解答) が赤で記載された指示が含まれます。

# 説明

このラボでは、フィールド、テーブル、リネーム、重複排除を含む一般的な **Splunk** コマンドをいくつか使用します。

#### 手順

**シナリオ**: マーケティングチームはマーケティングキャンペーンに関連するすべてのユーザーセッションを追跡しています。 購入アクションを含むすべてのユーザーセッションのレポートのようなもので、 それにより、実行中の別のキャンペーンで評価できるようにします。

# タスク 1: リクエストされたデータをサーチします。

1. サーチビューに移動します。 (ホーム App にいる場合は、画面左側にある列からサーチ & レポートをクリックしてください。サーチビューへは、画面一番上の緑のバーにあるサーチメニューをクリックしてもアクセスすることができます。)



**備考:** このコースでは、常時メインインデックスを使用してサーチすることになります。 これは運用 環境で最適な実例ではありませんが、データセット制限の性質により、これらのラボに必要と なります。

2. ウェブステータスが 200 の購入アクションを含むすべてのウェブアプリケーションイベントを返すサーチを入力します。(index=main sourcetype=access\_combined\_wcookie action=purchase status=200)

# 結果例:

11421CV J.				
< Hide Fields	≡ All Fields	i	Time	Event
SELECTED FIELDS  a host 1  a source 1  a sourcetype 1  INTERESTING FIELDS  a action 1  # bytes 100+  a categoryld 7  a clientip 100+  # date_hour 24  # date_mday 30  # date_minute 60  a date_month 2  # date_second 60  a date_wday 7  # date_year 1  a date_zone 1  a file 2	>	5/21/18 11:57:14.000 PM	109.169.32.135 [21/May/2018:23:57:14] "POST /cart/success.do?JSESSIONID=SD1SL7FF6ADFF89341&productId=FI-AG-G08 HTTP 1.1" 200 3 767 "http://www.buttercupgames.com/cart.do?action=purchase&" "Mozilla/5.0 (compatible; MSIE 9.0; Windows NT 6.1; WOW64; Trident/5.0; BOIE9;ENUS)" 986  host = web_application   source = access_3ODAY.log   sourcetype = access_combined_wcookle	
	>	5/21/18 11:57:13.000 PM	109.169.32.135 [21/May/2018:23:57:13] "POST /success.do?action=purchase&categoryId=SH0OTER&productId=WC-SH-G04&JSESSIONID=SD1S L7FF6ADFF89341 HTTP 1.1" 200 268 "http://www.buttercupgames.com/cart.do?action=addtocart&categoryId=SH0OTER&productId=WC-SH-G04" "Mozilla/5.0 (compatible; MSIE 9.0; Windows NT 6.1; WOW64; Trident/5.0; B0IE9;ENUS)" 448 host = web_application   source = access_30DAY.log   sourcetype = access_combined_wcookle	
	>	5/21/18 11:53:43.000 PM	198.35.3.23 [21/May/2018:23:53:43] "POST /success.do?action=purchase&categoryId=ARCADE&productId=MB-AG-G07&JSESSIONID=SD8SL8FF 6ADFF4957 HTTP 1.1" 200 2915 "http://www.buttercupgames.com/cart.do?action=addtocart&categoryId=ARCADE&productId=MB-AG-G07" "Mozil la/5.0 (compatible; MSIE 9.0; Windows NT 6.1; WOW64; Trident/5.0; B0IE9;ENUS)" 448 host = web_application   source = access_30DAY.log   sourcetype = access_combined_wcookle	
		>	5/21/18 11:51:56.000 PM	198.35.3.23 [21/May/2018:23:51:56] "POST /cart/success.do?JSESSIONID=SD8SL8FF6ADFF4957&productId=DC-SG-G02 HTTP 1.1" 200 594 " http://www.buttercupgames.com/cart.do?action=purchase&" "Mozilla/5.0 (compatible; MSIE 9.0; Windows NT 6.1; WOW64; Trident/5.0; BO IE9;ENUS)" 448 host = web_application   source = access_3ODAY.log   sourcetype = access_combined_wcookle

3. **関連のフィールド**リストで file フィールドを選択します。

#### 結果例:

Values	Count	%
success.do	16,139	89.991%
error.do	1,795	10.009%

- 4. Web サーバーから返されるファイルは2種類あります。 その2つとは、error.do と success.do で す。ウェブ開発チームによると、success.do は注文処理時に、error.do は処理中の情報にエラーが ある場合に使用されます。
- 5. チームは正常処理された購入のみを検索していますので、サーチを変更してそれらのみ返すようにします。 (index=main sourcetype=access\_combined\_wcookie action=purchase status=200 file=success.do)

## 結果例:



6. チームに関係のないフィールドを確認します。 fields コマンドを使用し、action、JSESSIONID、 status フィールドのみを返すようにします。サーチはコマンドを使用してより速く実行されますか?



(index=main sourcetype=access\_combined\_wcookie action=purchase status=200 file=success.do | fields action, JSESSIONID, status)

結果例:

#### **INTERESTING FIELDS**

- a action 1
- a JSESSIONID 100+
- # status 1
- **7.** フィールドリストは整理されているように見えますが、こういったイベントが見えるとチームが混乱する場合があります。

## タスク 2: テーブルが読みやすいようにデータを配置します。

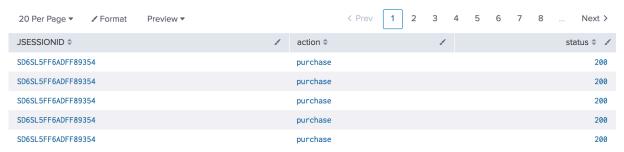
8. fields コマンドを table コマンドに置き換えて、データをテーブルとして表示します。(index=main sourcetype=access\_combined\_wcookie action=purchase status=200 file=success.do | table action, JSESSIONID, status)

#### 結果例:



9. フィールドの順序を変更し、JSESSIONID が最初の列にくるようにします。(index=main sourcetype=access\_combined\_wcookie action=purchase status=200 file=success.do | table JSESSIONID, action, status)

#### 結果例:



10. セッション ID はマーケティングデータでは「User Sessions」とよばれます。 JSESSIONID の名前を変更し、レポートとマーケティングデータを一致させます。(index=main sourcetype=access\_combined\_wcookie action=purchase status=200 file=success.do | table JSESSIONID, action, status | rename JSESSIONID as UserSessions)

結果例:





- 11. sort コマンドを使用して UserSessions をソートします。(index=main sourcetype=access\_combined\_wcookie action=purchase status=200 file=success.do | table JSESSIONID, action, status | rename JSESSIONID as UserSessions | sort UserSessions)
- **12.** UserSessions 値の中には複数回表示されるものもあります。 また、統計タブで返されるイベント数 にも注意します。
- 13. sort コマンドを解除し、dedup を使用して同一のセッション値を削除します。(index=main sourcetype=access\_combined\_wcookie action=purchase status=200 file=success.do | dedup JSESSIONID | table JSESSIONID, action, status | rename JSESSIONID as UserSessions)

#### 結果例:



14. いくつのイベントが統計タブに記載されていますか?

備考: ベストな成果を得るため、dedup はサーチのできるだけ早い段階で行ってください。

15. action および status フィールドの表示はデータのサニティーチェックに適していましたが、マーケティングチームはこれらを表示させる必要はありません。 これらをテーブル表示から削除します。 (index=main sourcetype=access\_combined\_wcookie action=purchase status=200 file=success.do | dedup JSESSIONID | table JSESSIONID | rename JSESSIONID as UserSessions)

# 結果例:

